

～The world scallop fishing Championships～  
第9回 TOYOURA 世界ホタテ釣り選手権大会 団体戦  
～ 競 技 規 則 ～

- 競技方法
- ・水槽内にいる口の開いたホタテ貝に専用仕掛けを入れ、口が閉じた瞬間に釣り上げる競技。
  - ・各チーム1本の竿をリレーしながら競技を行う。
  - ・1試合に出場できる選手は各チーム3名とする。
  - ・各試合毎に出場選手内で釣る順番を決め、1枚釣り上げたら次の選手へと竿をリレーする。
  - ・ホタテは釣り上げた競技者本人が外し計測バケツへ入れてから次の選手へ竿をリレーする。
  - ・一度釣りあがったホタテが仕掛けから外れ、水槽内に落ちた場合、そのホタテは釣れたとは認められない。
  - ・待機選手2名はステージ上に引いてあるネクストラインより後方にて待機する。
  - ・竿のリレー時、次の競技者はネクストラインより後方にて竿を受け取る。
  - ・予選リーグ実施後、上位チームにて決勝トーナメントを行う。
  - ・組み合わせ抽選は主催者にて厳正に行う。

【予選リーグ】

- ・予選4ブロック内での総当り戦を行う。
- ・1試合の競技時間は3分間。
- ・勝敗の判定は釣った枚数が多いチームの勝ちとする。
- ・勝敗成績を勝ち点制により計算し、各リーグ上位2チームが決勝トーナメントに進出できる。
- ・点数は勝ち＝3点、引き分け＝1点、負け＝0点とする。
- ・リーグ内で最終的に上位チームの勝ち点が同点の場合、次の順番で勝敗を決定する。
  - ① 予選全競技で釣り上げた総枚数が多いチームの勝ち。
  - ② 上記①が同数の場合は、該当チームの代表選手1名による規定枚数早釣りにより勝敗を決定する。

### 【決勝トーナメント】

- ・ 2チームによる対戦とし、規定枚数に先に到達したチームの勝ちとする。(規定枚数は試合前に発表します)
- ・ 1試合の競技時間は最大3分間。
- ・ 3分以内に両チームが規定枚数に到達しない場合は、釣った枚数が多いチームの勝ちとする。
- ・ 釣った枚数が両チーム同数の場合は、1名対1名のKO戦を行い、3対戦中、先に2勝したチームの勝ちとする。
- ・ KO戦は、当該試合に出場していた選手のみとする。
- ・ KO戦の出場順は当該試合と同じ順番とし、変更は一切認めない。

○使用釣具 ・ 使用する釣具一式は主催者が用意するものに限る。

○禁止行為 ・ 禁止行為に対しては競技審判員からの注意・警告あり。  
・ 審判員の判定が最終のものであり、判定に対する抗議は出来ない。

### 【注意】 イエローホタテ ※10秒間の競技停止処分

- ・ 他の選手の競技を妨害する行為
- ・ 竿のグリップに巻いてある赤いテープ部分以外を持つての釣り行為
- ・ 竿に釣糸を巻きつける行為
- ・ 仕掛けが水中にある時に釣糸・仕掛けに手を触れる行為
- ・ ホタテが水面に触れている状態で、ホタテをつかむ行為
- ・ 水面に手が触れる行為
- ・ 競技開始時におけるフライング行為  
(試合開始のゴングの前に、仕掛けを水面につけてはいけない)
- ・ 竿先を水面につける行為
- ・ 釣糸をホタテに巻きつけて釣り上げる行為
- ・ 待機選手がネクストラインより前方へ出る行為
- ・ 次の競技者がネクストラインより前方に足が出て竿を受け取る行為
- ・ 釣り上げた競技者以外がホタテを外す行為
- ・ チーム内で釣る順番が乱れた場合(必ず3名で一巡を繰り返すこと)
- ・ 通称「マッハ外し」等、計測バケツへホタテを勢いよく投げ込む行為
- ・ 豊浦産ホタテを侮辱する行為(ホタテは愛情こめて大切に)

### 【警告】 レッドホタテ ※失格及び競技終了

- ・ 危険と見なす行為
- ・ 故意に他の選手の競技を妨害する行為
- ・ 判定に対する執拗な抗議行為